令和3年度行政評価 事務事業評価シート(令和2年度実績)

事務事業コード	030503020	予算コード	01026800	従事人員(人)		投入コスト(千円)		評価	評価点
事務事業名	母子保健健康診査事業			正規職員数	2.26	国庫支出金	3,172	有効性	B
担当課	健康推進課			嘱託職員数	0.8	府支出金	0		
根拠法令等	法定受託事務			臨時職員数	1.73	市債	0	効率性	B
	■法律・政令・省令			歳出(千円)		その他	0		
	母子保健法			人件費総額	22,639	一般財源	119,147	妥当性	A
						減価償却費	0		
						事業費	99,680	受益者負担	C
事務事業類型	運営事業			フルコスト(千円)			122,319	緊急性	B
実施手法	一部委託			市民1人当りコスト(円)			1,216		
対象				活動指標		R2実績		公的関与	A
特定の市民		対象数	19,024人	集団健診実施回数		80.0			
各健診対象者(児)				個別健診実施回数		11,789.0		実施主体・委託化	B
事業の内容									
4ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診(法定)、3歳6ヶ月児健診(法定)、2歳児歯科健診を健診センターにて実施。経過観察健診は、H27年度よりりんくう総合医療センターに業務委託し、同センター付属施設で実施している。乳児一般健診、乳児後期健診、妊婦一般健診(受診券配布　1枚当たり5,000円、補助券7枚、合計116,840円)に加え、H30年度より、産婦健診(受診券配布１枚当たり5,000円、2枚)を医療機関へ業務委託している。H29年度7月からは妊産婦歯科健診を開始した。								他の事務事業との関連	A
				成果指標		R2実績		透明性	A
				集団健診受診者数		2,996.0			
				個別健診受診者数		11,789.0		財政健全化計画	該当なし
								財政健全化の取組	該当なし
				コスト指標		R2実績		改革改善プラン達成度	該当なし
事業の目的				受診者１人あたりの経費		8,273.0			
母子の疾病予防や早期発見・早期治療 保護者の育児不安の軽減と育児支援 虐待リスクの発見と虐待の早期発見									

一次評価	B
母子の健康状態チェック、乳幼児の障害の発見が本来の事業の意義であるが、子育て支援や虐待察知の機会としても非常に重要な事業であり、育児の総合支援事業として位置づけしている。今後においても受診率向上対策に努めなければならない。	

事務事業実施内容
健診センターで行う集団健診（4か月児、1歳6か月児、2歳児歯科、3歳6か月児）は例年どおり計画したが、新型コロナウイルス感染症の影響で3月の健診は中止。個別健診は、妊婦健診、産婦健診、妊産婦等歯科健診、乳児一般健診、乳後期健診、乳幼児精密健診、視聴覚精密健診、新生児聴覚健診をを医療機関への委託により実施。H27年度より経過観察健診をりんくう総合医療センターに委託し実施。周産期の一貫した支援を図る。